

2020年度（令和2年度）事業報告書

2021年6月

公益社団法人こども環境学会

2020年度（令和2年4月1日より令和3年3月31日まで）に次のような活動を実施しました。

記

①（公1）教育・啓発事業

A 大会の開催

大会の開催 長野県佐久市で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。
テーマ『こどもにやさしいまちの居場所』であった。

B セミナー、シンポジウムの開催

- ・こども環境学セミナーの開催・・・新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。
- ・こども環境学会2021年大会（長野）プレ・セミナー
テーマ「コロナ禍で見つけた こども達の力・自然の力～私達、大人は何ができるのか？～」
2020年11月28日（土）に会場とオンラインで開催をした。
講演『子どもたちと森の力を感じながら』 講師： 軽井沢 森のようちえん ぴっぴ代表
パネルディスカッション
テーマ「コロナ禍で見つけた こども達の力・自然の力～私達、大人は何ができるのか？～」
ファシリテーター：長野県池田町教育長
パネリスト：森のようちえん ぴっぴ代表、くろさわ病院内科医師、佐久市教育委員、長野県自然保育推進議員
連盟副代表の方々を迎えて行った。
会場での参加 主会場：サクモ佐久市子ども未来館 約15名
サテライト会場：佐久市市民活動サポートセンター 約15名、100名

C 広報活動

- ・本会の活動に関する学会誌2回を発行した。発行部数1固につき約1,200部。
- ・ウェブ・サイトの管理、サイトの全面リニューアルを行った。メールマガジン（サイト上にウェブマガジン）の発行を行った。
- ・4月以降、新型コロナウイルスに関する呼びかけ（プレスリリース）を行った。
「新型コロナウイルス感染症流行の中で子どもが活き活きと生きる環境を作るために」
その1：感染から守りたい。お家で、どう過ごす？ 子どもの心や体のためにできること
その2：緊急事態宣言のなかでの子育て ～ママ・パパ・保護者へのメッセージ～
その3：子どものこころと身体の健康のためにじょうずに日光・外気とつきあいましょう
その4：おうちで手軽にできる遊びのレシピ
その5：緊急事態宣言のなかでの子育て ～親子あそび～
取材のあった報道機関・・・（NHK、日本教育新聞社、毎日新聞社、京都新聞、産経新聞）
子ども向けのイラスト入りパンフレットをサイト上にて公開した。

D 災害等復興支援活動

- 福島県から「福島県こども環境セミナー業務」を受託した。10月から今年3月にかけて実施した。
- ・こどもの環境セミナー開催をビデオ視聴が可能な方法で開催した。11月23日（月・祝日）開催
講師 当法人の理事、会員5名が担当した。
 - ・保育園等へのアドバイスを実施した。（オンラインで実施）
参加施設は、福島県の保育園、こども園等のべ10施設。
講師は当法人の理事、会員が担当した。相談内容「施設のビオトープ、井戸、小川、花壇、築山、水道水を使ったビオトープ、堆肥枠、昆虫観察園、丸太遊具、砂場、畑」などについてであった。改修前と改修後の事例につ

いて、当法人ウェブサイトで紹介した。

- ・こども環境創生事業として保育園等へのアドバイス ワークショップ(オンライン、書面でのアドバイスを実施) 福島県の保育園、こども園等のべ3施設が参加。
講師は当法人の理事、会員が担当した。改修前と改修後の事例について、当法人ウェブサイトで紹介した。

E パンフレット、書籍出版活動

- ・発行物の刊行に関して研究等の成果のとりまとめ、編集を行った。
サイト上にウェブマガジンの掲載を行った。(上記Cの通り)子ども向けのイラスト入りパンフレットの発行、サイト上での無償公開を行った。

② (公2) 研究・評価事業

- ・こども環境に関する研究活動、評価を行った。設置されている研究会：
こども環境研究会北海道、北陸こども環境研究会、東海こども環境研究会、こども環境研究会関西、こども環境研究会関東、発達障害と生活環境を考える会、情育環境研究会、困難をかかえる子どもへの支援研究会、あそびをせんとや生まれけむ研究会、「スポーツ・あそびの集中力を高めるための装置—デバイディングカーテン—の効果に関する研究」研究会
上記の研究会にて研究、調査等を行った。

- ・研究・評価事業に関連するこども環境学セミナー、その他のセミナーは、中止した。
- ・東日本大震災の災害被災地におけるこどもの環境等について、研究、評価活動を行った。
今年度は、福島県から「福島県こども環境セミナー業務」を受託し研究、評価活動を行った。
- ・こども環境研究センターにて、研究活動を行った。テーマ「ICTを活用した「新たな遊び」の創出に関する基礎的実証研究」
- ・アンケート調査を実施した。
「コロナ禍状況の幼稚園・保育園における休園・登園自粛等への対応と子どもたちへの影響に関する調査」
休園中の子どもや保護者への影響、また保育再開後に伴う課題等を共有、発信し解決策を共に探るためアンケート調査を実施した。調査結果の報告書をウェブサイトに掲載した。今後も継続して分析を行っていく。
- ・発行物の刊行に関して研究等の成果のとりまとめを行った。
- ・査読部会にて、論文の査読を行った。人数 28名、査読された論文本数 14本。

③ (公3) 資格認定、顕彰事業

A こども環境アドバイザー資格の認定

こども環境の知識、経験、ノウハウ等を持つ者に対して本会独自の資格を設け、認定した。

第13回こども環境アドバイザー資格講習会

2021年3月13日(土)～14日(日)を実施した。(オンラインでの開催)

資格認定参加者は全員で 30名 (新規受講 27名、再受講 3名)、2020年度中の新規認定者は 8名。

B こども環境学会賞の公募

こども環境の発展に寄与する、優れた論文・著作、デザイン、活動、自治体施策に対し、専門家による選考委員会の審査を経て顕彰した。

今年度は、応募締切の2020年10月末までに論文・著作賞 12件、デザイン賞 10件、活動賞 4件、自治体活動施策賞 1件、合計 27件の応募があった。

選考委員による厳正な審査の結果、

論文・著作賞 0件、論文・著作奨励賞 2件、デザイン賞 1件、デザイン奨励賞 2件

活動賞 1件、活動奨励賞 0件、自治体施策賞 0件、自治体施策奨励賞 1件、以上合計 7件が選定されました。

表彰式は、2021年7月の長野大会(昨年度大会を延期。)にて行う。

(氏名は敬称略) 以上